

# 第14回神戸100年映画祭

## Report

[10月31日・ピフレホール]

### 『死線を越えて—賀川豊彦物語』

### 「献身100年」の活動伝える

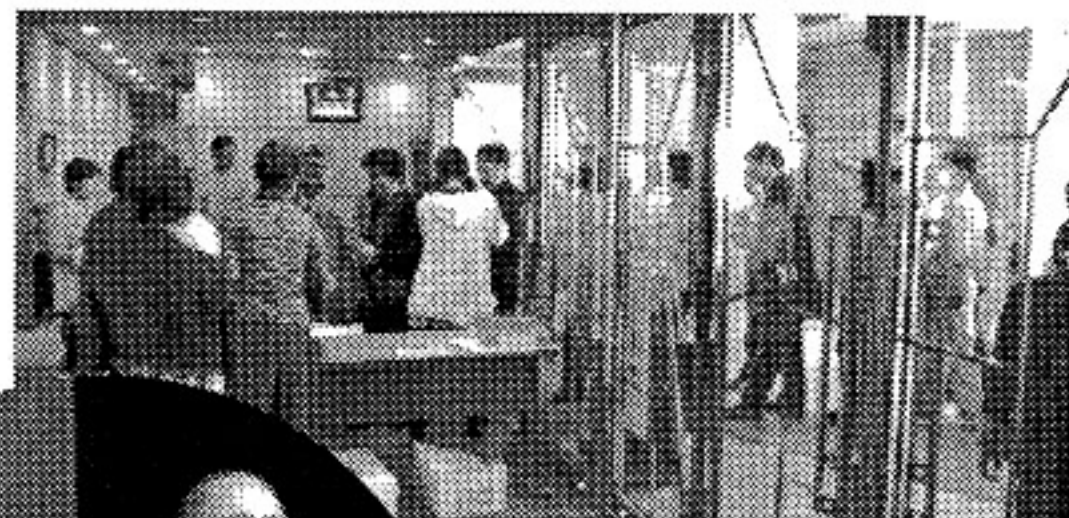
賀川豊彦献身100年記念神戸プロジェクト。これは賀川豊彦が神戸の貧しい町に入ってから100年を記念して、賀川豊彦のことをもっと多くの人に知っていただくと考えたプロジェクトです。そんな中、今回の企画は大きな成功となりました。

映画が始まる前にコープこうべ顧問であり神戸プロジェクト顧問でもある西義人氏に賀川豊彦の活動や、映画に関してお話いただきました。ユーモアあふれる西氏のお話で場内の緊張は解け、落ち着いた気分で映画を見ることが出来ました。

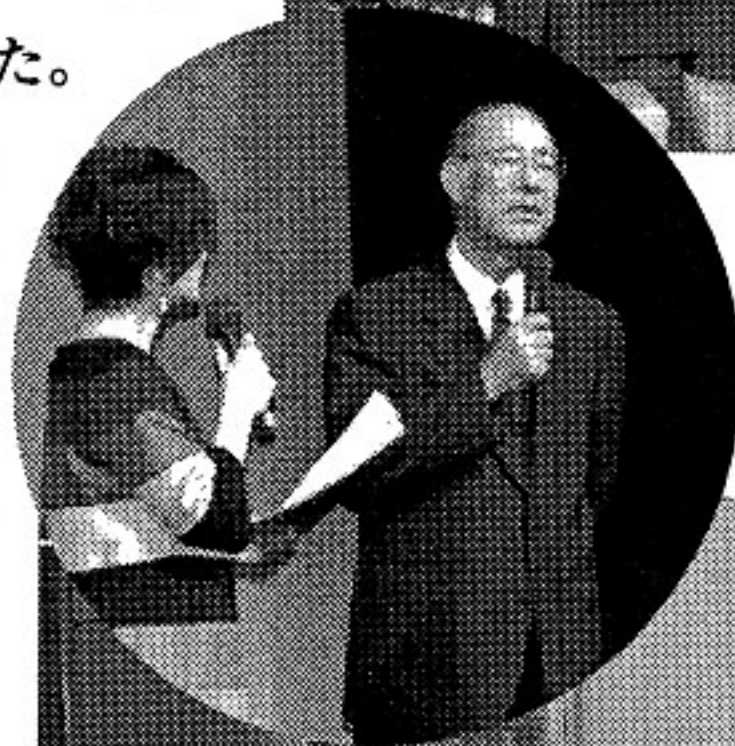
映画は出演者が国広富之（賀川豊彦役）と黒木瞳（賀川ハル役）を始め、松原千秋や長門裕之など、誰もが顔を知る方々が熱演されていることもあって、賀川豊彦の苦悩やドラマチックな展開に固唾を呑んで観ている雰囲気がうかがえました。

映画終了後「いい映画でした」「こんな映画があったんだね」など喜びの声が聞こえたのはとてもうれしく思いました。

会場内で行いましたパネル展は同じものを2009年12月1日～12月7日まで、神戸市役所2Fの市民広場で展示をしています。この度は本当にありがとうございました。（神戸プロジェクト事務局員 井関耕士郎）



ピフレホール入口



◀西義人氏あいさつ



賀川豊彦パネル展